

No.

正月
年
月
日
名紙

正月三日
年次己未
壬午年
己未月
丁巳日

正大
年一月二十二日
名紙一
萬
千

正月十一日
名號大吉

正年月日

年 月 日

正大年月日

一九四九年八月一日

1976

福岡縣勞働團體

日本勞女會、福岡鐵大協會、友愛會の

各代表者縣廳を訪ひ

労働運動に対する當局の暴壓を嘗らして知事警察部長の言質を取る

の如きも、演説會場にて其事件が詰められ、屏れば屏外矣。甚だ結構なりとして「一生」引揚へたが九月にこぐくする員の勞動運動者

之は知事の言葉ではなからうが元が
來勢衝撃が不正行為のやうに思
はれるが、其へか出る

苦々しきある不謹慎なる言葉である。期爆發の修羅の光景

平和は克復せり
松井駐佛大使より正式入電

平和は克復せり

松井駐佛大使より正式入電

福岡県婦人協会の宣傳演説會

横須賀市に本部を有する日本船會社は、
午後四時半に開港の如く十一日後西田
より銀座町公會堂にて開會式舉行
多數に上り同會員事長河添義二
氏及同議員其他吉田光利氏本
昌年時勇氏の等組合組織に就て
之の熱心なる運営もあり應接として
公等友會是長原壁二、西田健
他准

八幡に生れた國

既報の如く、午後四時より銀座町公會堂にて開會式を挙行したる事は、大藏省の製鐵所工藝成所にて、前記の如きを兼ね講習會を開催したる旨が、貴務報告よりて同員を當にし、明治甲子年時東氏の等組合組織に就ての熱心なる講演もあり應接ござつたる事、又是の講演は、西田健一の御講演會は、長原謹二、西田健一